



週間情報



No.2635

発行日 平成26年9月9日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

消防本部の動き

行事

◆ 新消防庁舎の落成に伴い消防庁舎見学会を開催

薩摩川内市消防局（鹿児島）

薩摩川内市消防局では、平成26年7月26日（土）、消防本部・中央消防署庁舎の完成にともなう落成式を挙行、落成を記念して27日（日）から5日間、消防庁舎見学会を開催しました。

市内外から約1000人の見学者が訪れ、消防車両や通信指令センターの見学をするとともに、新庁舎に併設した防災研修センターでの体験を通じ、防災についても学んでいただきました。

新消防庁舎が、市民を守る消防活動拠点として機能を発揮できるよう、今後も防火防災業務に職員一丸となって取り組みます。



【消防庁舎見学会の様子】



【新消防庁舎全景】

◆ 「夏休み一日消防士体験ツアー」を開催

北広島市消防本部（北海道）

北広島市消防本部では、平成26年8月2日（土）、市内の小学生を対象に「夏休み一日消防士体験ツアー」を開催しました。

この体験ツアーは、消防・救助・救急・指令の仕事を見学、さらには実際に訓練を体験することで、消防を身近に感じてもらうとともに夏休みのよい思い出づくりとなることを目的に今回初めて開催したものです。

小学1年生から5年生とその保護者など12組30人が参加し、放水訓練、はしご車搭乗体験、自力登はん、心肺蘇生法、119番通報と受報など、2グループに分けて実施し、参加した子ども達はみな緊張しながらも元気よく訓練をこなしていました。

終了後には、「一日消防士修了証」と景品を達成感に溢れた表情で受け取り、なかには「消防士になりたい。」との感想をよせる子もいました。



【体験ツアーの様子】

◆ 少年少女消防体験入隊を実施

埼玉西部消防局（埼玉）

埼玉西部消防局所沢中央消防署及び所沢東消防署では、平成26年7月30日（水）、31日（木）の2日間、所沢市内在住の小学校5・6年生を対象に少年少女消防体験入隊を実施し、125人の児童が参加しました。

本事業は、火災、救急等の災害に対する予防と応急処置を学習するとともに、命の大切さを学び、助け合いの心を育むことを目的として開催しており、申し込み時には長蛇の列をなすほどの人気イベントです。

体験内容は、午前にはしご車搭乗体験、ホース延長訓練、119番通報訓練、地震体験車で地震発生時の身の守り方、午後に応急処置訓練、消火訓練、ロープ渡り訓練などを体験しました。

参加した児童たちからは、「消防の仕事の大変さがわかった。」「災害に備えることの大切さがわかった。」などの感想が寄せられ、様々な消防体験を通じて防火防災意識の向上が図れたとともに、夏休みの良い思い出となったようです。



【少年少女消防体験入隊の様子】

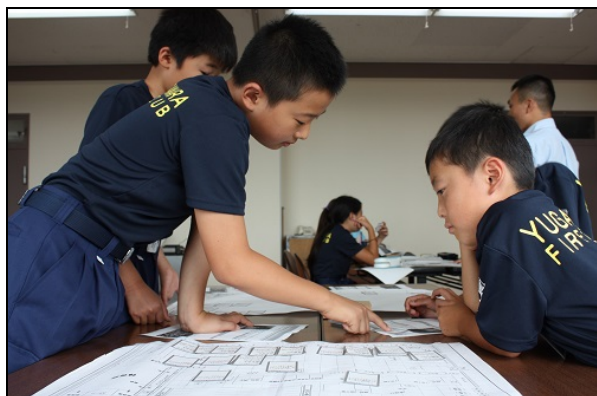
◆ 湯河原町少年少女消防クラブ「一日職場体験」を実施

湯河原町消防本部（神奈川）

湯河原町消防本部・消防署では、平成26年8月6日（水）から8日（金）の3日間、湯河原町少年少女消防クラブ員計38名が参加した「一日職場体験」を実施しました。

この体験学習は、次世代を担う小学生及び中学生が防火・防災に関することを学ぶことにより、学校の防災リーダーを育成するとともに、活動を通じて規律正しく明るく元気に成長することを目的とするクラブ活動の一環として実施したものです。

クラブ員は、礼式訓練、119番通報訓練、防災HUG（避難所運営ゲーム）、熱中症対策、消火器及び軽可搬ポンプ取り扱い訓練を実施し、昼食には災害用非常食を食べるなど、災害時の対応についての見識を高めました。



【一日職場体験の様子】

◆ 麻布十番納涼まつりで会場管理立入検査・消防特別警戒等を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁麻布消防署では、平成26年8月23日（土）、24日（日）の2日間、麻布十番商店街振興組合が主催する「第48回麻布十番納涼まつり」の開催にともない、麻布消防団と合同で会場管理立入検査、消防特別警戒を実施するとともに、消防広報コーナーを開設しました。

このまつりは改正火災予防条例における「多数の者の集合する催し」で「大規模なもの」に該当するため、今年4月から関係者に対し改正条例の情報提供、火災予防業務計画の作成を指導しました。8月1日に届出を受理し、改正火災予防条例施行後、当庁管内初の「火災予防対策に取り組んでいる特定大規模催し」として公表しました。

また、東京消防庁管内では8月に夏祭りとは花火大会の会場で火災が2件発生していることから、当消防署ではまつりの安全な開催に万全を期すため、まつり開始前から会場管理立入検査を実施し、露店等の火気使用器具や消火器の設置状況を確認するとともに、関係者に対し火災予防対策を徹底指導しました。

この会場管理立入検査の様子は当日深夜のテレビ朝日のニュース番組で報道され、広く都民に対して当庁の取り組みを広報することができました。



【会場管理立入検査の様子】

◆ 海外救助隊が視察に来署

東京消防庁（東京）

東京消防庁池袋消防署では、平成26年8月27日（水）、大韓民国からソウル市消防災難本部、中華民国から台北市及び新北市政府消防局、台湾赤十字救助隊の皆さんが視察のため来署されました。

この視察は、アジア大都市ネットワーク21（アジアの首都及び大都市の連携強化を目的に東京都が提唱し構築された国際ネットワーク）の共同事業の一環として、東京都総合防災訓練に参加するために来日されたなか、当庁との技術交流や意見交換を通して隊員レベルの人材交流を促進し、相互理解を深める目的で実施されたものです。

はじめに池袋消防署長から歓迎のあいさつがあり、その後、出場演習、記念撮影を行い、庁舎、車両、個人装備などを視察しました。途中、展示予定であったポンプ車2隊がPA連携に出場する場面がありましたが、実災害に向かう隊員の雰囲気を感じていただくことができました。

視察予定時間を超えてなお各コーナーで熱心に質問される隊員の皆さんの姿に、言葉は違いますが、同じ人命救助を志す消防職員の心意気を感じることができました。



【海外救助隊の視察の様子】

◆ 水難救助合同訓練を実施**志太広域事務組合志太消防本部（静岡）**

志太広域事務組合志太消防本部では、平成26年8月5日（火）、管内の一級河川大井川において、静岡県消防防災航空隊（オレンジアロー）との水難救助合同訓練を実施しました。

当消防本部の指揮隊、特別救助隊、水難班など26名と航空隊の隊員7名が参加し、「バーベキューをしていた若者が河川の急激な増水により下流に流され、要救助者が多数いる模様」との想定で訓練を開始しました。上流から流された要救助者をスローバックを使用しての救出方法や対岸に救助ロープを展張し、航空隊の隊員がホイスト降下し中洲の要救助者を吊り上げて救助する手順を確認しました。

今回の訓練では、消防隊と航空隊が情報を共有しながら連携し、安全確実な救助活動を展開することができました。

今後も管内の海や河川での水難事案に的確に対応するため、更なる水難救助技術の向上と関係機関との連携を強化し、水難事故防止のための広報活動や注意喚起に努めていきます。



【要救助者ピックアップにてヘリ収容】



【航空隊員要救助者確保の様子】

◆ 航空機事故初動対応訓練及び消防職員研修会を実施**宜野湾市消防本部（沖縄）**

宜野湾市消防本部では、平成26年8月12日（火）、13日（水）の2日間、市民会館駐車場と消防本部講堂において、航空機事故初動対応訓練と消防職員研修会を実施しました。

この訓練及び研修会は、平成16年8月13日に発生した沖縄国際大学敷地内ヘリ墜落事故から10年を迎え、当事故を経験していない若い職員に対して、事故を風化させないよう教訓の継承や特殊災害活動要領の向上を目的として実施しました。

訓練では、航空機が墜落炎上している状況を想定し、人命救助を最優先とした活動と遠方からの泡消火による消火訓練を実施しました。また、放射性物質が使用されている可能性からN災害も想定し、放射線防護服の着用や除染テントも設置する活動を行いました。

研修会では講師として、実際に事故当時勤務にあたっていた又吉清警防課長、大川正彦予防課長が「あの教訓を忘れない」と題し、当時の通報状況や事故対応の活動状況などについて講話しました。

今後も実践的な訓練を継続することにより、初動対応技術の向上を図り、市民の安心安全に努めていきます。



【航空機事故初動対応訓練を実施】

研 修 等

◆ 安全管理研修を実施

市原市消防局（千葉）

市原市消防局では、平成26年8月19日（火）、20日（水）の2日間、当市消防局において、株式会社タフ・ジャパンの鎌田修広代表を講師に迎え、全職員を対象に安全管理研修を実施しました。

講義は、民間企業や他の消防本部の最新の先進事例を交えながら、人材の適正な育成が安全管理の根本となること、組織の基礎単位となる職員個々の状態が組織に与える影響、良好な組織であるために職員がすべきことなど、安全管理につながる組織力の向上方法を職員が体感しながら学ぶことができた有意義なものとなりました。



【鎌田講師による研修の様子】

そ の 他

◆ 上越・妙高「消防・医療福祉セーフティーネットワーク」設立総会を開催

上越地域消防事務組合消防本部（新潟）

上越地域消防事務組合消防本部新井消防署、頸南消防署では、平成26年7月31日（木）、管内の病院、診療所、社会福祉施設等の全事業所が加盟する連絡協議会を設立し、総会を開催しました。

この協議会は、構成市の職員をアドバイザーとして、関係機関相互の連絡体制を構築し、安全に関する情報の共有を図るとともに、防火防災に関する公益活動を行い、利用者の安全安心に寄与することを目的に設立しました。

協議会の名称は、設立総会において『上越・妙高「消防・医療福祉セーフティーネットワーク」』と決定しました。

今後の協議会の活動として、Eメールによる類似施設からの災害事例や消防法改正の情報提供、防火救急研修会の定期開催等を計画し、施設利用者はもちろん地域の方々の安全安心に寄与できるよう協議会の発展に努めていきます。



【設立総会の様子】

◆ 消防団協力事業所表示証交付式を開催

桑名市消防本部では、平成26年8月11日（月）、当市役所市長室において、消防団協力事業所表示証交付式を開催し、伊藤徳宇市長から、NTN株式会社桑名製作所と株式会社NTN三重製作所に消防団協力事業所表示証が手渡されました。

当市においては、平成23年4月1日から、桑名市消防団協力事業所表示制度実施要綱を策定して運用を開始し、平成24年1月1日に株式会社アサヒダイテックを認定しています。

今回の認定で、協力事業所は3事業所になりました。

桑名市消防本部（三重）



【消防団協力事業所表示証交付式の様子】

国等の動き

報道発表

◆ 「救急の日」及び「救急医療週間」の実施（9月3日）

- 消防庁及び厚生労働省では、救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、かつ、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的として、9月9日を「救急の日」、この日を含む一週間（日曜日から土曜日まで）を「救急医療週間」と位置付けて、毎年実施しています。今年も全国の消防機関及び医療機関で、その趣旨に合せた行事が開催されます。
- 消防庁では「救急の日 2014」及び「救急功労者表彰式」を開催します。
- さらに、今年は非医療従事者によるAEDの使用が認められて10年という節目となることから、消防庁は、文部科学省と連携して、救急医療週間から今年度末までを「救おう！みぢかな命！」応急手当講習受講キャンペーン期間と位置付けて、全国の学校におけるAEDの使用を含む応急手当講習受講の更なる普及啓発を進めます。

[参考]

- ・救 急 の 日 … 9月9日（火）
- ・救 急 医 療 週 間 … 9月7日（日）～9月13日（土）
- ・「救急の日2014」 … 9月7日（日）11時00分～18時00分
アクアシティお台場 3階「アクアアリーナ」
- ・「救急功労者表彰式」 … 9月9日（火）13時30分～14時10分
KKRホテル東京 11階「白鳥の間」
- ・「救おう！みぢかな命！」
応急手当講習受講キャンペーン期間 … 9月7日（日）～今年度末

- 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h26/2609/260903_1houdou/01_houdoushiryou.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】救急企画室
担当：寺谷専門官、石田係長

◆ **平成26年防災功労者内閣総理大臣表彰（消防関係）（9月3日）**

平成26年防災功労者内閣総理大臣表彰受賞者（消防関係）は、次のとおりです。

防災功労者内閣総理大臣表彰受賞者 25団体
(受賞者団体名等は、別添（省略）の受賞者名簿に記載されています。)

防災功労者内閣総理大臣表彰は、毎年9月1日を「防災の日」とし、「政府、地方公共団体等関係諸機関を始め、広く国民が、台風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波等の災害についての認識を深めるとともに、これに対する備えを充実強化することにより、災害の未然防止と被害の軽減に資する」という趣旨に基づき、内閣総理大臣が表彰を行うものです。

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h26/2609/260903_1houdou/02_houdoushiryou.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】総務課 担当：小谷政策評価広報官・野村係長

※ 消防庁各課室の直通電話番号は (<http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html>) に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

週間情報への投稿は企画課へ！

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : weekly@fcaj.gr.jp

【お知らせ】

次回の週間情報は、平成26年9月17日（水）の発行となりますのでご了承ください。